

池田修三展

proprio

プロ
ファイル



2015年 9月19日[土]—10月12日[月・祝] 10:00~18:00

[休館日] 9月30日[水]—10月2日[金]

秋田県立美術館1F 県民ギャラリー(秋田市中通1丁目4-2) 入場無料



AKITA ART PROJECT
あきたアートプロジェクト

あきた県民文化芸術祭 2015・参加事業

文化庁

平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業



昨年1万人を超える動員を記録した池田修三展が、今年も、秋田県立美術館に帰ってきます！



池田修三
木版画家。1922年秋田県にかほ市象潟町生まれ。2004年に82歳で死去するまで、情緒あふれる子どもたちの情景やセンチメンタリズムを感じる作品を創り続けた。1977年日本版画協会を退会しフリーに。1980年代に秋田相互銀行のカレンダーや通帳、NTTや日本生命などの企業カレンダー、テレホンカードなどに作品が採用され、秋田を中心に広くその名を知られるようになる。2013年、初めての作品集『池田修三 木版画集 センチメンタルの青い旗』（ナナロク社）が刊行。 www.shuzoikeda.jp

没後10年にしてファンを増やし続けている秋田の宝物、木版画家池田修三。修三さんは、数冊の日記を残していました。

「この残った三冊の日記、焼きすてようとは思ったが、強いて残した。後に自分の歩みをふりかへるために」

はたして修三さんに自らを振り返る時などあったのだろうか？ そう思わざるを得ないほどに多作な修三さんは、生涯を自身の芸術に捧げました。修三さんのすべての日々が、木版画に向かっていることが克明に記されたそれらの日記は、修三作品が池田修三という人間そのものであることを教えてください。

「これらの作品は、そのときどきの私の自画像です」

そうはっきりと語る修三さんの姿を、生活を、思想を、折々の言葉と作品から感じて貰うべく、本展タイトルを『プロフィール profile』としました。池田修三という作家の苦悩と幸福をリアルに感じていただける展示にしたいと思っています。

また、それらの日記からも垣間見ることができる、偉大なる先輩、勝平得之との交流なども、別会場にて展示いたします。ぜひ、会場へおこください。

本展プロデューサー 藤本智士 (Re:S)

EVENT

9/19(土)ギャラリートーク 「池田修三と象潟」

にかほ市象潟郷土資料館
館長 齋藤一樹さん
時間：16:00～17:00
会場：秋田県立美術館1F県民ギャラリー（入場無料）

9/22(火・祝) 早瀬直久(ベベチオ)&青谷明日香ミニライブ 「プロフィールハーモニー」

時間：14:00～15:00
会場：秋田県立美術館 1F県民ギャラリー（入場無料）

10/3(土) 池田修三展関連企画 馬川亜弓 木版画ワークショップ「木版画を作ってみよう！」

兵庫県出身の木版画家、馬川亜弓さんによる、木版画教室。池田修三さんのように、図柄を考えて、版木を彫って、摺るまで、すべての工程にチャレンジしてみましょう。摺ったものは封筒にして、お持ち帰りいただけます。

時間：10:00～13:00
会場：秋田市民市場 水産通り「なんもスペース」
秋田市中通4-7-35
参加費：¥2000（彫刻刀などお土産つき） 定員：15名

イベントお申込み・お問い合わせ：のんびり合同会社
〒010-0021 秋田市榎山登町7-14 Tel&Fax 018-832-8086
E-mail: info@non-biri-go-do.jp



展示プロデュース：藤本智士 (Re:S)
アートディレクション・会場構成：MOMENT
主催：秋田市中心市街地アートによる賑わいづくり実行委員会
協力：にかほ市、にかほ市教育委員会、
ナナロク社、のんびり合同会社

関連企画展 勝平得之と池田修三 ～木版画にめざめる瞬間～



2015年9月12日(土)～11月15日(日)
9:30～16:30 会期中無休
会場：秋田市立赤れんが郷土館(勝平得之記念館)
秋田市大町3丁目3-21 Tel 018-864-6851
観覧料：200円(高校生以下無料)

勝平得之「花四題」より「春(ツバキ)」(1938年)



お問い合わせ
秋田県 観光文化スポーツ部 文化振興課
〒010-8572 秋田県秋田市山王3丁目1-1
Tel 018-860-1530(土曜・日曜・祝日定休)
あきたアートプロジェクト事務局
〒010-0921 秋田県秋田市大町3丁目1-12
川反中央ビル1F ココロプラトリー内
Tel&Fax 018-866-1559(不定休)
E-mail machi-muse@akita-art-project.net

